

2014 年度履修上の注意

【3 研究科共通事項】

①修了要件

本大学院に標準 2 年以上在学し、「30 単位以上の単位修得」と「修士論文あるいはそれに代わる研究成果を提出し、審査に合格する」ことが修了要件となります。

②修士論文提出条件

1 年次終了までに所定の単位を 20 単位以上修得していること（秋学期入学者は要問合せ）。さらに大学院研修会への出席と修士論文の中間発表が必要です。

③演習科目について

「演習科目」は修士論文等を作成するための研究指導科目であり、履修には同研究（講義）科目を修得済みであることが条件です（但し、人間福祉学研究科は同時履修可）。

④同一科目について

同一科目は複数回履修できません。（除、成績評価「I」）

⑤他研究科科目の履修について

他研究科科目の科目（演習除く）を履修することが可能です。ただし、履修単位として認められるのは 10 単位までです。

⑥学部科目の履修について

学部の開講科目を履修（聴講）することができます。登録受付期間内に大学院学務課で申込をしてください。受講料等は免除されます。登録期間についてはホームページ・掲示板に掲載します。

⑦最長在籍年数

修士課程・博士前期課程は 4 年、博士後期課程は 6 年です（但し、休学期間を除く）。

【アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士前期課程】

①共通必修科目の 1 科目 2 単位修得は修了要件です。

②指導教授は演習Ⅰおよび演習Ⅱの担当教員です。

③秋学期開講の演習Ⅰは 2 科目 8 単位以上修得が修了要件です。

④原則として演習Ⅱは 2 年次以降通年で履修します。演習Ⅰで履修した 2 科目のうち 1 科目を選択履修します。

⑤シニアコースで入学の学生は、共通必修科目のほかに「研究方法特論Ⅰ」（文化研科目）「デモクラシー・人権政策研究」（政策研科目）が必修科目となります。

【政治政策学研究科】

①選択必修科目の 3 科目 6 単位の中から 1 科目 2 単位以上修得が修了要件です。（2013 年度秋入学生は、選択必修科目の 3 科目 6 単位から 2 科目 4 単位以上修得が修了要件です。）

②指導教授は演習Ⅰおよび演習Ⅱの担当教員です。

③秋学期開講の演習Ⅰは 1 科目 4 単位修得が修了要件です。

④原則として演習Ⅱは 2 年次以降通年で履修します。演習Ⅰと同一科目の 1 科目 4 単位修得が修了要件です。

【人間福祉学研究科】

①コア科目群内の（必修）科目 1 科目 2 単位修得は修了要件です。

②コア科目群内の（必修）科目以外で 1 科目 2 単位以上修得は修了要件です。

③指導教授は演習Ⅰおよび演習Ⅱの担当教員です。

④秋学期開講の演習Ⅰは 1 科目 2 単位修得が修了要件です。

- ⑤原則として演習Ⅱは2年次以降通年で履修します。演習Ⅰと同一科目の1科目4単位修得が修了要件です。

【アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程】

- ①単位制を採用していません。修了要件に必要な修得単位数はありません。
- ②在籍中を通して「特殊研究」科目を履修してください。科目担当者が指導教授です。
- ③博士論文提出資格試験（Qualifying Examination）が課せられていますので、1年次に「演習Ⅰ（＝博士前期課程の演習Ⅰ）の1科目」「語学試験のための原書講読科目」を履修することを勧めます。
- ④博士論文提出資格試験に合格した後、「博士論文予備審査用論文」の提出が課せられています。
- ⑤詳細は「文化研博士後期課程カリキュラム概要」P.78を参照ください。